

年次レポート

2021-2022



社会福祉法人 調布を耕す会

「笑って過ごしたい」

私の好きな言葉に「泣いても、怒っても、笑っても一日なら、笑って一日を過ごしたい。」があります。

今、コロナウイルスでメンバー・保護者・職員等が戦っている最中に笑ってなんかいられないという気持ちは分かります。物事には始めがあり、終わりがあります。毎日毎日自分の信じる事に全力で取り組めば、必ず終わりがきます。それを信じて、「笑って」一日を過ごしましょう。

今年も暑気払いが中止になりました。私は毎年寿司を買う役です。何とも思わなかった寿司を買う役が懐かしくて仕方ありません。来年は必ず役目があるでしょう。

私は素人の落語の会の裏方を20年近くやってきました。笑語を披露しますと、
「ヘビがいる空港はハブ空港、ヘビがいる港はバブの港」
「親戚のおばさんおじさんのお年玉と掛けまして、夏の日の夕暮れと解きます。
その心は くれそうでくれない」

この原稿を書いている今、東京のコロナウイルスの感染者数は 8,000～9,000 人が続いております。早く、ちくわや蓮根のように先が見通せることを願っています。

「笑って」頑張りましょう。

2022年7月
社会福祉法人 調布を耕す会
理事長 原 良男

2021~2022

■写真で見るこの1年

■2021年度事業報告

- I. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き国領」の運営……1
- II. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……5
- III. 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営……9
- IV. その他の事業・活動……12
- V. 組織運営……13
- VI. その他プロジェクト……13

■2021年度決算報告

- ・貸借対照表……15
- ・資金収支決算書……16
- ・事業活動収支決算書……18

■2022年度事業計画

- I. 重点目標……20
- II. 生活介護「しごと場大好き」・分場「しごと場大好き 国領」の運営……20
- III. 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営……24
- IV. 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営……29
- V. 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営……31
- VI. その他の事業・活動……33
- VII. 組織運営……33

■2022年度予算

- ・予算内訳表……35

◆資料

- 1年間の活動日誌……37
- 役員名簿……40



しごと場

大好き



gruvure



Adult ceremony



Cat festival





緊張しているのかな？
 この時は、いつになく背筋
 が伸びているように見えま
 す。



Ceremony



上手く伝えられたかな？



いつもと一味、違う皆さんです



Christmas Party



社会福祉法人調布を耕す会 2021 年度事業報告

I 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

【生活介護「しごと場大好き」】

1. 事業運営

今年度も、予想を超えるコロナ禍に見舞われ3年続けての新型コロナウイルス感染対策を前提とした運営を強いられる1年となりました。これまで同様に日常の消毒、密集回避、マスク着用等の新しい生活様式を続け、事業所としてワクチン接種や抗原検査などを行い予防に努めました。こうした取り組みで昨年度までは防げていた感染でしたが、第6波は防ぎきれず感染者が出て閉所、在宅支援を行う事がありました。一方メンバーについては、分場で1名の増員がありましたが、1名のメンバーについては、ご家族が病気で倒れ在宅での支援が難しい状況となり年度末に退所する事となりました。昨年度から懸案だった事業継続計画（BCP）については感染症に対する計画は出来ましたが、水害、地震災害については取り組めず引き続きの課題として残る事となりました。また、今年度は第三者評価年にあたり、人材開発機構による運営調査及び家族、職員アンケートを実施しました。家族の皆さんからは高い評価を頂いた一方で職員からは課題も多く上げられ次年度への課題となっています。

2. メンバー処遇

新たに、ST,PTの専門職の方に定期的に指導いただきコミュニケーションや身体面でのサポートをお願いしました。熱心に取り組んでいただき、メンバー、職員双方に意識や行動に良い変化が表れてきています。継続して関わっていただきます。目標としてきた個別支援の充実は、承認表現を意識する事や、物の配置、予定の提示を分かりやすくすることで少しずつ良い方向へ向かうと共に、職員の向き合い方にも変化が感じられます。指導的にならないように気を付けながら、よりの確なサポートが出来るように取り組んでいきます。一方で、昨年から引き続き、在宅支援後出勤がままならないメンバーの課題が解消できませんでした。新たなアプローチが必要になっています。

(1) 生活支援

日常の活動やリハビリを通して、利用者の心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者の意思や個性・特性を尊重した創作活動を行いました。

(3) ケース会議 *就労継続支援B型と合同開催

基本的に週1回のペースで定期的に行われ、支援方法の確立に寄与しました。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めました。ST、PT等専門職に関わっていただく中で日常の運動や補装具での改善が見られました。

(2) 創作活動の機会の提供

陶芸、組みひもなど従来の創作活動に加えて、引き続き美術講師を招き、芸術活動の時間を設けています。今年度は、カフェ大好きを利用した作品展も実施されました。

(3) 簡易受託受注事業

封入封筒、ポスティング等、単発の仕事もメンバーには向いている事も多く、引き続き積極的に取り組んでいます。

(4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践）

年間を通して、毎週月曜日に社会体験に通ずる様々な活動を行いました。

②地域に根ざした活動（地域向けバザー／道路清掃）

今年度もコロナ禍が続いてしまったために、年間を通して例年予定している行事がほとんど開催することが出来ませんでした。餅つき会、大好き市も2年続けて中止を余儀なくされ、地域との関係を築く「場」が持てませんでした。

③受託事業（メール交換、散水清掃業務（駐輪場清掃）、クリーンセンター清掃）

就労継続B型部門、国領と合わせ合同で取り組みました。メンバーはどの受託事業においても積極的に取り組み、それぞれに進歩が見られます。

④音楽療法（社会体験活動内）

今年度も、講師を招いて音楽療法を年5回行いました。コロナ禍の為、昨年が続いてクラフト製作と音楽の2グループに分かれ入れ替え制で実施しています。1度に集まるよりもむしろのびのびと活動出来るようです。

⑤在宅支援（災害、感染症等に際して）

コロナ感染拡大防止の観点から2日の閉所を行い内1日の在宅支援を実施、各メンバー個別の課題提供と健康状況のチェックを行いました。

4. 防災計画

就労継続B型部門と国領合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月6日 地震発生想定避難誘導訓練 2階からの車いす利用者避難、消防署立会を希望しましたがコロナ禍の為立会いはありませんでした。参加59名

3月12日 地震発生想定総合防災訓練、（消火訓練、DVD学習、避難訓練、送迎訓練）全メンバーをご家庭まで送り届ける訓練を実施しました。参加55名

5. 日課

予定通りの日課を行いました。

6. 苦情相談

規定対応案件はありませんでした。

7. 第三者委員 *就労継続B型と合同開催

引き続いてのコロナ禍の為に、委員の方が来所出来ず、実施する事が出来ませんでした。次年度は開催の見込みです。

8. リスクマネジメント委員会

(1) 総括

引き続き、施設長、カフェ大好き店長、主任2名の計4名で委員会を構成した。結果的に今年度は、定例会議を実施することができませんでした。

2022年度は現体制を維持しつつ、第11期リスクマネジメント委員会として活動を再開します。

9. みんなを守ろう委員会

2021年度は、7回開催しました(9/24、10/28、11/25、12/9、1/18、2/8、3/8)。

《内容》

- ・職員へのアンケート実施(9月に実施。これまでは9月と3月に実施していたが次年度より4月と10月に実施に変更のため、2022年3月は実施せず)
- ・アンケートや現状からの課題出し
- ・アンケートの回答まとめと、課題への回答案を職員へ配布
- ・虐待防止研修の実施(10/28、12/23)
研修の中でグループディスカッションも実施、メンバー対応の課題を検討した
- ・来年度からの委員会実施義務化へ向けての準備(指針や規程作成など)

10. 職員

生活介護事業所として職員2名を採用しています。コロナ禍による新しい生活様式への対応で消毒業務の増加や新しい職員の増加、職員の事業所間の異動があるなど忙しい時期がありましたが、メンバー処遇には大きな混乱なく運営することが出来ました。

11. 研修 *就労継続B型と合同実施

コロナ禍の影響でほとんどの外部研修がZOOM研修に切り替わりました。研修案内はメール1本となり件数も総体的に減少傾向だったために受講を逃すこともありましたが。内部研修は「みんなを守ろう委員会」の主催で行った虐待防止研修、看護師による吐しゃ物の処理研修など好評でした。東京都の研修に伴う派遣職員制度については、今年度も数回に亘り活用しましたが、派遣先の企業が替わり派遣される職員の質が変わったことは残念でした。今後の利用に影響がありそうです。

12. 運営資金

1年間に亘るメンバー1名の不在(ショートステイ利用)やコロナ感染拡大防止のかかりまし経費、公共料金の値上げ、修理やガソリン代高騰等の車両経費、健康診断経費の増額、菓子、ジェラートの収入減、材料費の高騰等様々なマイナス要因があり予定より厳しい決算となりましたが、単独事業としての黒字運営は確保されました。就労支援事業の経費での不足分に法人よりの繰り入れを充てています。

【生活介護 分場「しごと場大好き 国領」】

1. 事業運営

開所から4年目を迎え、新メンバー1名の加入と担当職員の総入れ替えがありましたが、新しい事へ挑戦しながらよりよい形を模索し続けてきた1年でした。年度後半からは人出不足により職員が減ったことで物事の進み方がペースダウンしましたが、それも現状の作業を見直す良い機会となりました。

2. メンバー処遇

年度初めには職員が総入れ替えし新メンバーも加入したことで環境が大きく変わったので落ち着かなくなることも見られましたが、色々と新しい事に挑戦する中でメンバー個々の得意な事が見えてきて新たな作業や自主製品を生み出すことが出来ました。それぞれに出来ることが増えて積極的に作業へ取り組む様子もみられるようになりました。職員の交代による環境の変化は一見ネガティブな要素にも感じますが、新たな風が入るといっては利用者にとってプラスになることも多かったのではないかと実感し

ています。しごと場大好き国領は本部から離れた場所にある小さな空間なので、ものの見方が偏ることの無い様に今後も色々な職員が関わっていくことも大切に思えます。

(1) 生活支援

日常の活動を通して利用者の心身の健康保持と生活機能の向上に努めました。

(2) 創作活動援助

利用者それぞれの特性や個性を活かした創作活動（紙すき・ミサンガ・シルクスクリーン・キーホルダー・芸術など）を提供しました。

3. 活動内容

(1) 日常生活上の支援を提供

ADL（日常生活動作）が未自立な利用者に対して、支援を通して身体能力や日常生活能力の維持向上に努めました。

(2) 創作活動の機会の提供

牛乳パックや排紙リサイクルの手すきコースター、合皮を使ったキーホルダー、外国のコインを使ったミサンガなどのアクセサリ、シルクスクリーンでプリントした手ぬぐい、オリジナルの人形などを制作し「カフェ大好き」やキッチンカー、創造農園さんのカフェ「空と大地と」にて販売も行いました。

アクセサリ作家からの依頼によるフリンジ制作も引き続き行っています。

(3) 簡易受託受注事業

しごと場大好きと分け合いながらポスティング等の仕事に積極的に取り組んできました。

(4) その他の事業

① 社会体験活動

以前行っていたコミュニケーションの発展形として日々の感想や予定を伝え合う時間を設けてコミュニケーション方法を学んでいます。コロナにより交通機関を利用した外出は1度だけ調布駅への買い物実習という形で実施出来ました。今後感染症の不安が無くなり次第イベントを企画していきたいと考えています。

② 地域に根差した活動

事業所周辺の道路清掃を行っており通りがかる近所の方々とコミュニケーションをとる機会にもなっています。

③ 運動

PT指導による運動、花見など季節を感じながらのウォーキング、ヨガなど心身を整えられるような取り組みをしました。毎週金曜日には体重測定を行っています。

④ 調理実習・みそ汁作り

毎週月曜日に調理実習を行い、それ以外の曜日にもみそ汁を毎日作ります。メニューはメンバー会議で決めた内容で今年度は家庭でも作りやすいメニューを心掛け、家での手伝いに繋がるような活動を意識しました。

4. 防災計画 *しごと場大好きと合同開催

5. 日課

人員不足により職員数が減り予定変更もありました

6. 苦情相談

特別な相談はありませんでした。

7. 第三者委員

しごと場大好きの相談会に参加しています

8. リスクマネジメント委員会 * しごと場大好きと合同開催

9. みんなを守ろう委員会(虐待防止) * しごと場大好きと合同開催

10. 職員

基本3名の職員配置。職員状況によりしごと場大好きとの連携で職員間の移動を実施。

11. 研修 * しごと場大好きと合同開催

12. 運営資金

しごと場大好き分場として運営しています

II 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営 【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

1. 事業運営

生活介護部門同様に、コロナ禍の第6波は防ぎきれず感染者が出て閉所、在宅支援を行う事がありました。職員2名の入職がありましたが、結婚退職やコロナの体調不良の退職、介護休業などが重なり職員配置が不安定な時期が続き、調理部門の人員不足が補われていません。メンバーについては、1名の増員がありましたが、三鷹市在住のメンバー1名が自宅近くの事業所への移動のため退所されています。メンバー処遇全体には大きな影響は無く落ち着いていました。運営費については、移動による事務職員1名分の人件費に加え、様々なマイナス要因が大きく開所以来初めての赤字となってしまいました。立て直しが急務です。

2. メンバーの処遇

全体に大きく乱れることなく年間を通して安定した処遇となりました。予想に反してコロナ禍が収束せずに密を避けるグループ対応が続いていますが、昨年同様に個別対応には好影響が出ている様子で、担当する仕事での進歩が見られます。工賃については、厳しい財政状況ではありましたが、昨年度は特別ボーナスが支給できず、平均工賃も下がってしまう状況だったため、今年度は特別ボーナスを復活させています。

(1) 生産活動援助

菓子製造、ジェラート部門では、1名の職員退職に伴って新たに1名雇用しましたが、コロナ感染の後遺症で働けなくなり年度末に退職となってしまい後任探しが急務です。売り上げに関しては、新しい商品の販売など製造の努力があったものの、やはり販売場所の減少やイベントでの販売等これまで大きな収入になっていた「場」が無くなった影響は大きく、コロナ前の売り上げには及びませんでした。原材料費の高騰の影響もあり商品の値上げを実施する時期に来ています。

(2) 生活指導

利用者の立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めました。

(3) 職業訓練指導

日々の活動の中で、就労に必要な知識及び能力の向上に努めました。

3. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる調布市関連の委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培いました。製造部門ではコロナ禍の影響が引き続き大きくなっていますが、受託部門においても休みの時期などがあり予定収益に達しませんでした。クリーンセンター清掃、駐輪場清掃、マンション清掃等、施設外就労においては引き続きメンバーが大変意欲的に責任をもって取り組んでくれています。

(2) 自主製品事業

陶芸、組みひもについては、今年度も大きな収入源の福祉まつり、市役所販売会、パルコ前販売店などのイベントが中止となり大きな減収になっています。都設置の福祉ショップ「KURUMIRU」では運営会社が積極的にアドバイスを下さり商品の品質が高まっています。

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店（カフェ大好き）、福祉ショップの営業を通して地域の方々と触れ合いながらやりがいをもって働いています。コロナ禍が続き席数を半減させての営業が続いていますが、客足はむしろコロナ前を上回る状況で、年間の売り上げはわずかながら過去最高額となっています。

(4) 食品加工事業

カフェ大好きでの販売食品（カレー、スープなど）の製造、クッキー、シフォンケーキ、かぼちゃプリンなど焼菓子の製造、加工、販売。ジェラートの製造、加工、販売を行いました。新商品の「ブルドネージュ」クッキーは評判が良く企業などからの大量受注もあり売り上げ好調です。メンバーが加工に関わる場面も多く有難い商品になっています。また、原材料の生産中止から新たなレシピで「チャンスの種」の新作の製造もありました。ジェラートについては大手企業での店舗販売の話がありチャンスをつかむべくアプローチしています。

(5) ケータリングカーでのジェラート・菓子販売

調布駅前のケータリング販売は、昨年末から担当者交替がありコンスタントに売れるようになり年間を通して売り上げが伸びました。しかし、大きな売り上げのあるイベント中止や販売店休止の影響は大きく、コロナ前の売り上げに戻るにはもう少し時間がかかりそうです。

4. 防災計画 *生活介護と合同実施

生活介護部門と国領合同で防災訓練を年2回実施しました。

9月 6日 地震発生想定避難誘導訓練 2階からの車いす利用者避難、消防署立会を希望しましたがコロナ禍の為立会いはありませんでした。参加59名

3月12日 地震発生想定総合防災訓練、(消火訓練、DVD学習、避難訓練、送迎訓練)全メンバーをご家庭まで送り届ける訓練を実施しました。参加55名

5. 日 課

予定通りの日課を行いました。

6. 職員

退職職員が2名、介護休業者1名、新職員2名と変動が大きく不安定な配置の期間が長く続いて

しまいました。

7. 研修 *生活介護と合同実施

8. 運営資金

事務職員1名増員に伴う人件費、コロナ感染拡大防止のかかりまし経費、公共料金の値上げ、修理やガソリン代高騰等の車両経費、健康診断経費の増額、菓子、ジェラートの収入減、材料費の高騰等様々なマイナス要因が重なり、開所以来初めての赤字決算となってしまいました。多機能型全体でも赤字となり、立て直しが急務です。

9. 第三者委員 *生活介護と合同開催

引き続いてのコロナ禍の為に、委員の方が来所出来ず、実施する事が出来ませんでした。次年度は開催の見込みです。

10. リスクマネジメント委員会 *生活介護と合同開催

11. みんなを守ろう委員会 *生活介護と合同開催

【出張所「カフェ大好き」】

調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

1. 事業運営

新型コロナウイルス感染対策をしながらの営業も2年目を迎えました。席数半減という営業のしにくさは続きましたが、その状況の中でも売上はよく、大入り袋も支給することができました。職員配置では4月から常勤職員2名を固定配置する体制をとりましたが、1名が10月に退職。店長が11月から休職とイレギュラーな状態が続き、職員総体の協力を得て営業を続けることができました。次年度は、引き続き感染症対策を施しながらの営業を行ない、店長不在のため企画実施に至らなかった周年祭の実施を検討していきたいと思えます。

(1) 事業活動

①喫茶事業（喫茶店の営業）

前年度に引き続き感染症予防対策を施しながらの営業でした。席数を減らしての営業は制限も多いですが、それでも営業成績はよく、大入り袋も支給できました。近隣のファミリーレストランの閉店にともなう影響もあるように感じています。

店長の長期不在など職員配置が落ち着かない中での忙しい営業の日々でしたが、メンバー職員総体で乗り切った一年でした。

《前年度より継続中の主な感染症対策》

東京都感染防止徹底宣言（虹色ステッカー）取得/席数削減32席→16席（ソファー席撤去・机椅子の配置変更）/仕切板の設置/入店時の消毒検温/机椅子の消毒/空気清浄機、サーキュレーター、換気モニターの設置など

②福祉ショップ事業

継続して市内福祉作業所の手作り品を展示販売しました。新たに1事業所の委託販売をスタート。しごと場大好きのアート展、ねこまつりなども開催され、企画展に沿った商品の展示販売をすることで売上もよく、成果のあった一年でした。継続していきます。

③地域交流事業（展覧会/講演会等）

月ごとに展示が変わり、市民の方々の作品発表の場として有効活用していただきました。しごと場大好きのお菓子を展示した「アート展」や猫に特化した作品展「ねこ祭り」の開催は好評で、次年度も継続して企画していきます。

（2）利用者の処遇

年度中に1名の退所がありました。ご本人の希望で通所を開始された方でしたが、適した作業内容の提供などうまくできなかった部分もあり悔やまれます。職員配置がイレギュラーな時期が続いてメンバーも不安を感じる場面がありましたが、職員のシフト表を貼りだすことで安心して仕事に取り組めるようになりました。お客様の入りもよく売り上げがあがることでメンバーもモチベーション高く仕事に取り組めた一年でした。

（3）メンバー会議

しごと場大好きの日曜日の取り組みに、共に参加しました。

（4）広報・情報提供活動

①ホームページを活用して、カフェ大好きのお菓子の展覧会の情報等を発信しました。

②これまでのブログ発信からフェイスブックとInstagramでの発信に切り替えました。担当職員が日々の様子や外販の様子も細目にアップし、タイムリーな情報提供ができました。

③日本テレビ放送「24時間テレビ」内で、お店の紹介や日ごろの様子などの取材放映がありました

2. 運営・管理

（1）運営

出張所として、適正な運営を行いました。

（2）資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないました。

（3）衛生管理

①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちました。

②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めました。

③食品の取り扱いに充分注意しました。粘着テープで制服のほこりを取り、異物混入を防ぐ対策を継続して行いました。

④定期的に衛生管理チェックを行い、衛生検査を年2回行いました。

（4）保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めました。

（5）防災計画

年2回の防災訓練を行いました。しごと場大好きと合同の防災訓練も実施しました。水害被害軽減策を策定したものの、掲示をしていないなど実質運用できない状態になってしまっています。災害対策マニュアルとともに常設し、実際の災害時に活用できるようにすることが必要です。

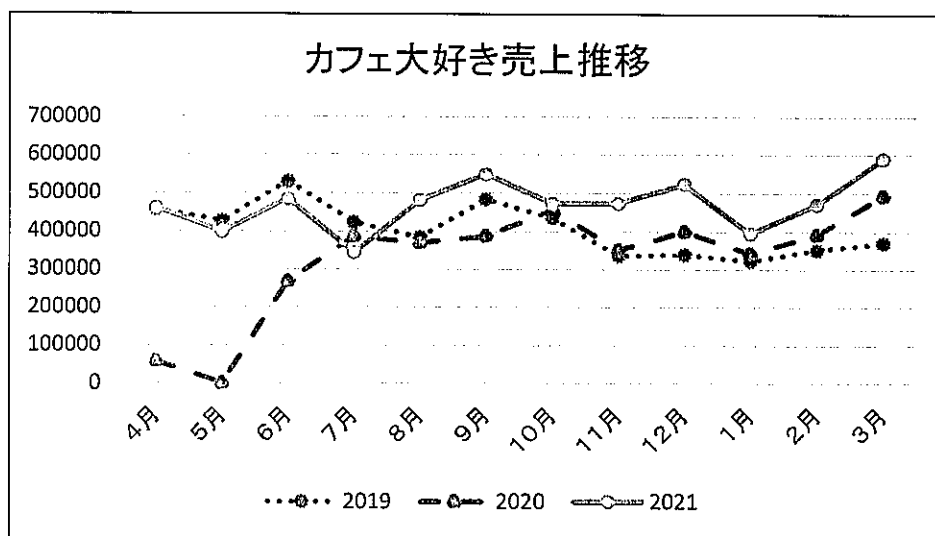
（6）施設間の連絡調整

全国喫茶コーナー交流会に参加し、引き続き情報収集につとめました。

（7）研修

コロナ禍により、昨年実施した外部喫茶の見学はできませんでした。今後は日曜日の取り組みの中で、店休日を利用した接客トレーニングなどを実施していくことを検討しています。

◆資料 過去三年間の売り上げ



【分析と検証】

・コロナ禍で入場制限を継続しながらの営業でしたが、どの月も前年度よりよい売上を残すことができました。最終的に過去3年間で最高の売り上げを残すことができました。メンバーのモチベーションアップにもつながっています。

Ⅲ 共同生活援助グループホームDAISUKI・ユニット「パンプキン」の運営
【共同生活援助グループホームDAISUKI】

1. 事業運営

事業開始11年目にあたる今年は、入居者4名生活支援員2名世話人4名でスタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行ってまいりました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めてまいりました。また、昨年使用していた物件については、約束の期限があったため移転に向けた準備を進めてまいりました。一度期限を3月末から5月末までに延長していただき、6月引越しをして、移転および増員(1名)が完了。用途の変更に時間がかかりましたが、7月途中からの入居、8月最初からの増員が認められスタートしました。

2. 利用者の処遇

利用者が少しでも自立に向けた経験を積んでいければと、準備・片付け・掃除・洗濯・配膳・下膳等、日常生活に必要なスキルを自主的に取り組めるように働きかけてまいりました。食事・入浴の提供及び衛生管理・金銭管理も日常的に行いました。これにより洗濯機の使い方や洗濯物の干し方・お米の研ぎ方・下膳・小遣い帳記載等が良い習慣として身につけてきているとの報告があり継続して続けています。感染症対策の1年でしたが、年度初めの閉所期間から始まり、日常の手洗いから検温(朝・晩)・手指の消毒・換気の励行・感染リスクの高い食事の場面については2部制にして人数を分けて食べること、ついたての設置・終了後の消毒等を徹底して行ってきました。空気清浄機の導入もしました。

3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、クッキングハウスさんに委託して提供して頂きました。年に数回程度、販売されている惣菜・お弁当等も取り入れました。また、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- (4) 金銭管理の援助として、小遣いを預かり出納を管理しました。
- (5) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。
- (6) 一人暮らしを望んでいる元利用者に、随時相談として面談を行いました。また、関係各機関との連絡調整を行いました。

4. 防災計画

DAISUKI 防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催し、第1次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 6 万円、 光熱水費、日用品費、雑費など実費。

経費は毎月、食費は利用に応じて、請求（翌月第四土曜日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

今年度は、職員の入れ替わりもなく、安定した1年でした。

8. 資金計画

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

【ユニット「パンプキン」】

東京都調布市染地 2-27-6

1. 事業運営

事業開始4年目にあたる今年は、入居者5名、生活支援員7名、世話人5名で、スタートしました。指定共同生活援助の提供にあたっては、利用者が地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、入浴・食事等の支援・相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行って来ました。また、利用者が住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに人間性を尊重した事業運営に努めて来ました。人的な体制としては、退職

者が今年も3名と多く、新たに2名の方が入職しました。支援の統一の必要性があり、夜の職員打ち合わせに担当者が出向いていくことになりました。

2. 利用者の処遇

利用者が、少しでも自立に向けた経験をできるようにと、食事の提供及び食事の介助、衣類の着脱の見守り及び介助、入浴の介助、トイレの介助等を行ってきました。感染症対策の1年でしたが、年度初めの閉所期間から始まり、日常の手洗いから検温（朝・晩）・手指の消毒・換気の励行・感染リスクの高い食事の場面については2部制にして人数を分けて食べたり、ついたての設置・終了後の消毒等を徹底して行ってきました。空気清浄機の導入もしました。4・5月の閉所期間が明けてから暫くして、家庭からグループホームに戻ることに困難になってしまった入居者がいて、経過やご家庭の様子を伺いながら働きかけをしたり、プレッシャーになるからと暫く様子を見たり、来られない期間が長くなってしまい打開策が中々見つからずにいましたが、年度末に近づいてから少しずつ来られるようになり、泊まる日数を少しずつ増やしている最中です。そのような場合の取り決めが、特に決められていなかったこともあり、ご家族とも話し合っていていくことが課題として残りました。

3. 事業内容

- (1) 利用者に対する相談として、随時面談を行いました。
- (2) 食事、入浴の提供は、日々行ってきました。平日の夕食は、食事づくり担当職員が調理を行い、提供して頂きました。また、入浴介助担当職員が、入浴の介助を随時行いました。
- (3) 健康管理として、歯磨き・ブラッシング等の援助を随時行いました。
- (4) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助として、主に担当者が連絡調整を行いました。

4. 防災計画

パンパキン防災計画を作成しました。避難訓練は、年度内に一度開催し、第1次避難場所まで実際に避難してみる訓練を行いました。防災関連用品を購入し、水を備蓄しました。

5. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当および苦情解決責任者を置き、周知をしましたが、実際の苦情はありませんでした。

6. 利用者から受領する費用

経費は次のように定めて、

食費 平日（朝食 300 円、昼食 300 円、夕食 600 円）休日（昼 300 円、夕食 600 円）

家賃月額 61,200 円 光熱水費、日用品費、事務用品費、雑費などは実費を受領。

食費は利用に応じて、請求（翌月 10 日まで）を行い、利用者保護者から振込をして頂きました。

7. 職員

夜勤の担当職員2名の退職と、入浴担当1名の退職があり、夜勤の担当2名を補充しました。また、DAISUKIの職員に食事担当になっていただくことで、水曜日の食事を穴埋めしました。

8. 資金計画

今年度は、運営費について、おおむね運営資金で賄い、適正な運営ができました。

9. 短期入所「パンプキン」

今年度も、試験的運用となっており、5名の利用がありました。次年度本格稼働となります。

IV その他の事業・活動

1. 障害者の社会参加を支援する活動

(1) 交流活動（年間を通して随時）

① 餅つき会

・新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、中止となりました。

2. 広報・情報提供活動

(1) 会報の発行等

法人の事業・活動を広く知らせるとともに関連情報を提供する為、調布市内外の関係機関・団体、協力者、助成団体、マスコミ、特別支援学校 PTA などに配布しました。

偶数月年6回、毎号600部発行

発行月	発行No.	主な内容
4月	175	2021年通所式/年間皆勤賞/こぶしの会だより/しごと場大好き国領/グループホーム/安藤光子さん追悼/通信衛星
6月	176	理事会決算報告/こぶしの会だより/30周年アンケート/退職の報告/サマー募金のお願い/将来構想拡大P/通信衛星
8月	177	ZIP水トアナ取材 24HTV 放映/縁日&水遊び/年次レポート発行/こぶしの会だより/新職員3名紹介/通信衛星
10月	178	パラアート展/ランチマーケット出店/こぶしの会だより/グループホームへようこそ/退職、退所の報告/通信衛星
12月	179	特集 2021年ベストバイ/グループホームへようこそ/理事会報告/カフェ念願の大入り袋/こぶしの会だより/通信衛星
2月	180	クリスマス会/成人を祝う会/ねこまつり開催中/グループホームへようこそ/理事会報告/こぶしの会だより/通信衛星

(2) 情報提供活動

年次レポートを予定通り発行することができました。長年の課題である法人のパンフレットはいまだ未作成のため、早い時期の取り組みが必要です。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

(1) 「それはおしゃれなコンサート（第27回）」

27回目のチャリティーコンサートは、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ中止（延期）となりました。次年度、今年度予定していたゲストをお招きして開催する予定です。

4. 協力・連携事業

(1) 文化的活動の実施

実施できませんでした。

(2) 他団体等への支援・協力活動の実施

実施できませんでした。

V 組織運営

1. 組織運営

(1) 理事会、評議員会の開催

「しごと場大好き」「カフェ大好き」を運営する体制を整えるとともに、各種事業、活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図るよう努めました。

理事会の開催 6回 評議員会の開催 3回

(2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務局会議を定例で月1回開催し、運営上の課題について検討を重ねました。年間を通して税理士さんに会計を見てもらい、各事業、月々の締めには決算もあわせて、確認していただいています。理事長に月次報告として、事務局会議で確認していただいています。

(3) 市民の参画を得るための委員会の確立

幅広い市民の参加によるプロジェクト（委員会）を設置し、法人の事業、活動を市民の参画・協働によって実施していくことを目指して活動しました。

「コンサートプロジェクト」では『それはおしゃれなコンサート』の企画を行いました。

【コンサートプロジェクト】

朝日敏幸 大菊健太 川崎春枝 原郁子 舟山佐智 後藤朋子

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

引き続き、研修の機会を設けることに積極的に取り組みました。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めました。

バザー等の計画的実施

(1) バザーは、今年度が最後の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策のため中止（延期）となりました。次年度、最後のバザーを開催する予定です。

VI その他プロジェクト

1. 将来構想プロジェクト（第4期将来構想プロジェクト）

今年度は第4期のプロジェクト3年目にあたり第4期中期計画最終年を迎えました。1月に予定していた第7回の将来構想拡大プロジェクトは、関係者家族のコロナ感染を受けて延期となり、昨年度同様に年度明けの6月に実施する事となりました。今回は「又村あおい」氏をお迎えし「障碍のある人の80/50問題」で講演いただきます。今年度は、前年度繰越分拡大プロジェクトと今年度の分と2度の拡大プロジェクト開催もあって、例年を上回る年間12回のプロジェクトが開催されました。第4期通算では3年間で26回の開催となりました。

5月に実施された第6回の将来構想拡大プロジェクトは、コロナ禍の密を避けるためにたづくり大会議場にて実施。48名の参加でした。第4期プロジェクトの進捗状況をお知らせすると共に、各事業所で製作した日常の活動ビデオを披露しました。参加者には好評を博し、数年後にまた作って欲しいと要望が出ています。今年度の進行管理の中では、★DAISUKI 移転★おやじの会発足★法人機能強化★人材育成★ICT活用★事業継続計画策定★平均工賃3万円達成★日中一次支援事業の開始★障碍者虐待防止委員会の更なる推進★身体拘束の適正化について取り組んでいます。

※第4期将来構想プロジェクト【原良男 大村洋 小山嘉子 亀田良一郎 内田喜則 後藤朋子 矢内真澄 上野秀幸 山口寛孝 松原中代 以上10名】

第5期将来構想プロジェクト〈2022～2024年度第5期中期計画〉について

目的：グランドデザインを踏まえて、2025年度までの法人長期計画を実現するための3か年の実施計画である。

方針：今回の5期計画は、法人長期計画（10年計画）の後期にあたり、調布を耕す会30周年事業の実施期間にあたる。同時に25年の最終年へ向け課題が積み残されないように目標化して取り組んできたものの結果が求められる。

重点課題：◇30周年事業実施◇グルホーム DAISUKI の移転完了◇新規事業所の開設

2. グループホーム移転プロジェクト

2021年度は、移転のための年となりました。布田の10年契約が2021年3月で満了となり、移転を余儀なくされました。深大寺の物件の紹介がありましたが契約の段階で頓挫しました。厳しい状況の中、現在の国領町の物件の紹介がありました。布田のオーナーのご配慮で5月31日まで契約を延長していただくことができ、移転に向けた準備を整えることができました。3年間という期限はありましたが、2021年6月1に移転が完了しました。移転から1年が経過しました。

- プロジェクトメンバー：安藤光子（前川奈央）、石坂泰子、舟山佐智、長谷川美枝子、森戸治子、亀田良一郎、内田喜則、山口寛孝 8名
- オブザーバー： 荘司和代、原良男 2名

貸借対照表

令和 4年 3月31日現在

(単位:円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	159,563,121	159,837,560	△ 274,439	流動負債	30,375,443	27,280,266	3,095,177
現金預金	133,236,891	133,697,089	△ 460,198	事業未払金	22,701,403	17,558,450	5,142,953
事業未収金	23,617,036	23,629,486	△ 12,450	1年以内返済予定設備資金借入金	1,540,000	1,540,000	0
未収補助金	861,520	857,250	4,270	預り金	206,926	2,750,560	△ 2,543,634
商品・製品	281,229	427,655	△ 146,426	職員預り金	1,441,434	1,245,293	196,141
仕掛品	8,382	3,005	5,377	賞与引当金	4,485,680	4,185,963	299,717
原材料	223,490	168,029	55,461				0
立替金	180,242	122,760	57,482				0
前払費用	1,137,831	543,786	594,045				0
仮払金	16,500	388,500	△ 372,000				0
固定資産	296,750,865	299,269,691	△ 2,518,826	固定負債	9,401,770	10,108,250	△ 706,480
基本財産	260,486,401	264,352,081	△ 3,865,680	設備資金借入金	7,700,000	9,240,000	△ 1,540,000
土地	160,000,000	160,000,000	0	退職給付引当金	1,701,770	868,250	833,520
建物	90,486,401	94,352,081	△ 3,865,680	負債の部合計	39,777,213	37,388,516	2,388,697
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	純資産の部			
その他の固定資産	36,264,464	34,917,610	1,346,854	基本金	10,000,000	10,000,000	0
建物	1,291,188	1,602,005	△ 310,817	第1号基本金	10,000,000	10,000,000	0
機械及び装置	1	1	0	国庫補助金等特別積立金	208,634,789	213,395,427	△ 4,760,638
車輛運搬具	2,118,516	3,366,473	△ 1,247,957	その他の積立金	13,300,594	13,300,486	108
器具及び備品	1,777,972	1,905,888	△ 127,916	工賃変動積立金	5,894,224	5,894,224	0
権利	216,000	216,000	0	設備等整備積立金	7,406,370	7,406,262	108
投資有価証券	9,910,456	9,838,821	71,635	次期繰越活動増減差額	184,601,390	185,022,822	△ 421,432
退職給付引当資産	1,701,770	868,250	833,520	(うち当期活動増減差額)	△ 421,324	4,493,075	△ 4,914,399
工賃変動積立資産	5,894,224	5,894,224	0				0
設備等整備積立資産	7,406,370	7,406,262	108				0
差入保証金	4,500,000	3,000,000	1,500,000				0
長期前払費用	883,817	755,536	128,281				0
その他の固定資産	564,150	64,150	500,000	純資産の部合計	416,536,773	421,718,735	△ 5,181,962
資産の部合計	456,313,986	459,107,251	△ 2,793,265	負債及び純資産の部合計	456,313,986	459,107,251	△ 2,793,265

資金収支決算書

(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
収入	就労支援事業収入	18,140,760		6,245,115	12,007,105		*
	受託事業収入	7,262,661		4,164,631	3,098,030		
	喫茶事業収入	5,855,495			5,855,495		
	自主製品事業収入	390,214		192,823	206,191		*
	菓子、調理製造事業収入	3,098,107		1,413,646	1,688,061		*
	アイスクリーム製造事業収入	1,281,858		377,871	906,147		*
	簡易受託受注事業収入	216,324		96,144	120,180		
	仕入れ商品売り上げ収入	36,101			133,001		*
	障害福祉サービス等事業収入	162,957,411		70,529,289	53,365,841	39,062,281	
	自立支援給付費収入	134,041,809		63,777,539	43,012,479	27,251,791	
	介護給付費収入	63,777,539		63,777,539			
	訓練等給付費収入	70,264,270			43,012,479	27,251,791	
	利用者負担金収入	404,402		404,402			
	特定費用収入	11,810,490				11,810,490	
	その他の事業収入	16,700,710		6,347,348	10,353,362		
	補助金事業収入	16,700,710		6,347,348	10,353,362		
	借入金利息補助金収入	183,260		132,354	50,906		
	経常経費寄附金収入	3,182,154	2,600,550	265,301	316,303		
	受取利息配当金収入	81,684	80,620	366	579	119	
	その他の収入	2,788,360	25,900	480,380	560,257	1,721,823	
	受入研修費収入	23,000		10,429	12,571		
	利用者等外給食費収入	73,500				73,500	
	雑収入	2,691,860	25,900	469,951	547,686	1,648,323	
雑収入	2,691,860	25,900	469,951	547,686	1,648,323		
事業活動収入計(1)	187,333,629	2,707,070	77,652,805	66,300,991	40,784,223	*	
事業活動による収支	人件費支出	127,721,538	84,120	56,271,868	48,440,204	22,925,346	
	役員報酬支出	84,120	84,120				
	職員給料支出	56,785,323		26,670,069	25,782,172	4,333,082	
	職員賞与支出	15,452,845		7,636,638	6,627,565	1,188,642	
	非常勤職員給与支出	39,704,122		12,661,185	10,567,881	16,475,056	
	退職給付支出	2,148,320		1,436,320	667,500	44,500	
	法定福利費支出	13,546,808		7,867,656	4,795,086	884,066	
	事業費支出	15,369,330		4,879,678	5,592,573	4,905,879	*
	給食費	2,335,821				2,335,821	
	保健衛生費支出	2,617,580		1,591,672	1,013,557	12,351	
	被服費支出	3,010			3,010		
	教養娯楽費支出	62,219		27,688	34,531		
	水道光熱費支出	4,799,592		1,181,212	2,084,389	1,533,991	
	消耗器具備品費支出	1,608,556		451,813	752,531	413,012	*
	保険料支出	506,588		203,071	250,007	53,510	
	賃借料支出	356,650		41,904	314,746		
	教育指導費支出	549,320		356,890	192,430		
	車両費支出	2,084,044		1,024,213	945,937	113,894	
	雑支出	445,950		1,215	1,435	443,300	
	事務費支出	22,531,593	471,934	3,908,231	6,299,251	11,954,837	*
	福利厚生費支出	319,450		192,718	126,732		
	職員被服費支出	32,164			32,164		
	旅費交通費支出	117,240	117,100	140			
	研修研究費支出	74,800		72,578	2,222		
	事務消耗品費支出	589,379	80,369	201,902	240,122	163,886	*
	印刷製本費支出	132,256	116,340	5,809	9,091	1,016	
	修繕費支出	388,563		148,512	240,051		
	通信運搬費支出	1,128,126	594	217,295	316,138	594,099	
	広報費支出	584,774	55,454	240,733	288,587		
	業務委託費支出	3,530,857		1,638,236	1,706,721	185,900	
	その他の委託費支出	3,530,857		1,638,236	1,706,721	185,900	
	手数料支出	747,146	1,461	71,030	105,096	569,559	
	保険料支出	336,870	60,000	276,870			
	土地・建物賃借料支出	13,887,608		660,000	2,838,720	10,388,888	
	租税公課支出	211,440		52,786	137,165	21,489	
	保守料支出	261,359	10,780	82,968	167,611		
	諸会費支出	82,436	4,736	27,508	44,192	6,000	
	雑支出	112,885	25,100	19,146	44,639	24,000	
	雑支出(事務)	112,885	25,100	19,146	44,639	24,000	
	就労支援事業支出	19,463,864		7,062,738	12,401,126		
	就労支援事業販売原価支出	19,463,864		7,062,738	12,401,126		
	就労支援事業支出	19,463,864		7,062,738	12,401,126		
	支払利息支出	183,260		132,354	50,906		
その他の支出	3,360		1,515	1,845			
利用者等外給食費支出	3,360		1,515	1,845			
事業活動支出計(2)	185,272,945	556,054	72,256,384	72,785,905	39,786,062	*	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	2,060,684	2,151,016	5,396,421	△ 6,484,914	998,161		

資金収支決算書

(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入 施設整備等補助金収入					
	施設整備等収入計(4)					
	支出					
	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000		1,540,000		
	固定資産取得支出	954,300	500,000	454,300		
	器具及び備品取得支出	454,300		454,300		
	その他の固定資産取得支出	500,000	500,000			
	施設整備等支出計(5)	2,494,300	500,000	1,994,300		
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,494,300	△ 500,000	△ 1,994,300		
その他の活動による収支	収入					
	積立資産取崩収入	145,820		145,820		
	退職給付引当資産取崩収入	145,820		145,820		
	拠点区分間繰入金収入	1,300,000		900,000	400,000	
	その他の活動収入計(7)	145,820		1,045,820	400,000	
	支出					
	積立資産支出	979,448	22	461,840	443,066	74,520
	退職給付引当資産支出	979,340		461,840	442,980	74,520
	設備等整備積立資産支出	108	22		86	
	拠点区分間繰入金支出	1,300,000	1,300,000			
その他の活動による支出	1,861,112				1,861,112	
差入保証金支出					1,500,000	
長期前払費用支出	361,112				361,112	
その他の活動支出計(8)	4,140,560	1,300,022	461,840	443,066	1,935,632	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 3,994,740	△ 1,300,022	583,980	△ 43,066	△ 1,935,632	
当期資金収支差額合計(10)=(3)+(6)+(9)	△ 4,428,356	350,994	3,986,101	△ 6,527,980	△ 937,471	
前期末支払資金残高(11)		137,595,782	47,700,840	38,851,044	46,890,644	4,153,254
当期末支払資金残高(10)+(11)		134,467,426	48,051,834	42,837,145	40,362,664	3,215,783

*…内部取引あり

事業活動収支決算書
(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
収益	就労支援事業収益	18,140,760		6,245,115	12,007,105		*
	受託事業収益	7,262,661		4,164,631	3,098,030		
	喫茶事業収益	5,855,495			5,855,495		
	自主製品事業収益	390,214		192,823	206,191		*
	菓子、調理製造事業収益	3,098,107		1,413,646	1,688,061		*
	アイスクリーム製造事業収益	1,281,858		377,871	906,147		
	簡易受託受注事業収益	216,324		96,144	120,180		
	仕入れ商品売り上収益	36,101			133,001		*
	障害福祉サービス等事業収益	162,957,411		70,529,289	53,365,841	39,062,281	
	自立支援給付費収益	134,041,809		63,777,539	43,012,479	27,251,791	
	介護給付費収益	63,777,539		63,777,539			
	訓練等給付費収益	70,264,270			43,012,479	27,251,791	
	利用者負担金収益	404,402		404,402			
	特定費用収益	11,810,490				11,810,490	
	その他の事業収益	16,700,710		6,347,348	10,353,362		
補助金事業収益	16,700,710		6,347,348	10,353,362			
経常経費寄附金収益	3,182,154		2,600,550	265,301	316,303		
サービス活動収益計(1)	184,280,325	2,600,550	77,039,705	65,689,249	39,062,281	*	
サービス活動増減の部	人件費	128,854,775	84,120	57,181,665	48,572,424	23,016,566	
	役員報酬	84,120	84,120				
	職員給料	56,785,323		26,670,069	25,782,172	4,333,082	
	職員賞与	11,266,882		5,893,675	4,489,865	883,342	
	賞与引当金繰入	4,485,680		2,306,380	1,857,300	322,000	
	非常勤職員給与	39,704,122		12,661,185	10,567,881	16,475,056	
	退職給付費用	2,981,840		1,782,700	1,080,120	119,020	
	法定福利費	13,546,808		7,867,656	4,795,086	884,066	
	事業費	15,431,449		4,919,635	5,610,759	4,909,855	*
	給食費	2,335,821				2,335,821	
	保健衛生費	2,617,580		1,591,672	1,013,557	12,351	
	被服費	3,010			3,010		
	教養娯楽費	62,219		27,688	34,531		
	水道光熱費	4,799,592		1,181,212	2,084,389	1,533,991	
	消耗器具備品費	1,608,556		451,813	752,531	413,012	*
	保険料	568,707		243,028	268,193	57,486	
	賃借料	356,650		41,904	314,746		
	教育指導費	549,320		356,890	192,430		
	車輛費	2,084,044		1,024,213	945,937	113,894	
	雑費	445,950		1,215	1,435	443,300	
	事務費	22,558,260	471,934	3,908,231	6,299,251	11,981,504	*
	福利厚生費	319,450		192,718	126,732	32,164	
	職員被服費	32,164					
	旅費交通費	117,240	117,100	140			
	研修研究費	74,800		72,578	2,222		
	事務消耗品費	589,379	80,369	201,902	240,122	163,886	*
	印刷製本費	132,256	116,340	5,809	9,091	1,016	
	修繕費	982,662		148,512	240,051	594,099	
	通信運搬費	534,027	594	217,295	316,138		
	広報費	584,774	55,454	240,733	288,587		
	業務委託費	3,530,857		1,638,236	1,706,721	185,900	
	その他の委託費	3,530,857		1,638,236	1,706,721	185,900	
	手数料	747,146	1,461	71,030	105,096	569,559	
	保険料	336,870	60,000	276,870			
	土地・建物賃借料	13,914,275		660,000	2,838,720	10,415,555	
	租税公課	211,440		52,786	137,165	21,489	
	保守料	261,359	10,780	82,968	167,611		
	諸会費	82,436	4,736	27,508	44,192	6,000	
	雑費	107,125	25,100	19,146	44,639	24,000	*
	雑費(事務)	107,125	25,100	19,146	44,639	24,000	*
	就労支援事業費用	19,600,042		7,126,072	12,473,970		*
	就労支援事業販売原価	19,600,042		7,126,072	12,473,970		*
	期首製品(商品)棚卸高	427,655		176,111	251,544		
	就労支援事業費	19,453,616		7,029,930	12,423,686		*
	期末製品(商品)棚卸高	△ 281,229		△ 79,969	△ 201,260		
減価償却費	5,956,080		1,938,385	3,303,997	713,698		
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 4,760,638		△ 1,751,129	△ 2,479,991	△ 529,518		
サービス活動費用計(2)	187,639,968	556,054	73,322,859	73,780,410	40,092,105	*	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 3,359,643	2,044,496	3,716,846	△ 8,091,161	△ 1,029,824		

事業活動収支決算書
(自)令和 3年 4月 1日(至)令和 4年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益	183,260		132,354	50,906	
		受取利息配当金収益	153,319	152,255	366	579	
		その他のサービス活動外収益	2,788,360	25,900	480,380	560,257	1,721,823
		利用者等外給食費収益	73,500				73,500
		受入研修費収益	23,000		10,429	12,571	
	費用	雑収益	2,691,860	25,900	469,951	547,686	1,648,323
		雑収益	2,691,860	25,900	469,951	547,686	1,648,323
		サービス活動外収益計(4)	3,124,939	178,155	613,100	611,742	1,721,942
		支払利息	183,260		132,354	50,906	
		その他のサービス活動外費用	3,360		1,515	1,845	
	利用者等外給食費	3,360		1,515	1,845		
	サービス活動外費用計(5)	186,620		133,869	52,751		
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	2,938,319	178,155	479,231	558,991	1,721,942	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 421,324	2,222,651	4,196,077	△ 7,532,170	692,118	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益					
		施設整備等補助金収益					
		拠点区分間繰入金収益	1,300,000		900,000	400,000	
		特別収益計(8)			900,000	400,000	
	費用	拠点区分間繰入金費用	1,300,000	1,300,000			
	特別費用計(9)	1,300,000	1,300,000				
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1,300,000	△ 1,300,000	900,000	400,000		
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 1,721,324	922,651	5,096,077	△ 7,132,170	692,118	
繰越活動増減差額の部		前期繰越活動増減差額(12)	185,022,822	59,711,661	34,382,256	87,787,849	3,141,056
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	183,301,498	60,634,312	39,478,333	80,655,679	3,833,174
		基本金取崩額(14)					
		その他の積立金取崩額(15)					
		その他の積立金積立額(16)	108	22		86	
		工賃変動積立金積立額					
		設備等整備積立金積立額	108	22		86	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	183,301,390	60,634,290	39,478,333	80,655,593	3,833,174	

*…内部取引あり

社会福祉法人調布を耕す会 2022年度事業計画

I 重点目標

1. 全事業において、未だ終息見せない新型コロナウイルスの感染防止に努め、新しい生活様式の下でクラスター感染が起きないように細心の注意を払うとともに、メンバー（利用者）及び職員等関係者の健康に最大限配慮したサービス提供を行う。
2. 社会福祉事業「しごと場 大好き」分場「しごと場大好き 国領」「カフェ 大好き」の運営の充実に努める。
3. 社会福祉法人として、地域福祉の担い手となるべく、多くの市民とともに事業・活動の一層の充実、展開を目指す。
4. グループホーム「DAISUKI」ユニット「パンプキン」の運営の充実に努める。
5. 災害時における事業継続計画（BCP）の策定に取り組む。
6. 「調布を耕す会」発足30周年を迎えるにあたり記念事業を行う。
7. 第5期中期計画（2022～2024年度）を策定し、新たなプロジェクトチームで実行する。

II 生活介護「しごと場 大好き」・分場「しごと場 大好き 国領」の運営

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 10名 現員14名<区分6（6）区分5（6）区分4（2）>

職員定数

所長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤）（所長兼務）
医師	1名（嘱託）
看護職員	1名（非常勤）
機能訓練指導員	1名（常勤）
生活支援員	8名（常勤6名、非常勤2名）
事務職員	1名（非常勤・兼務）

分場「しごと場大好き 国領」

所在地 東京都調布市国領7-17-26

利用定員 7名 現員6名<区分5（3）区分4（3）>

職員定数

所長（管理者）	1名（常勤・兼務）
サービス管理責任者	1名（常勤・兼務）
生活支援員	3名（常勤2名、非常勤1名）

1. 事業運営基本計画

指定生活介護の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第二条の四に規定するものに対して、入浴、排せつ又は食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行

うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

「しごと場大好き」：新たに策定する第5次中期計画に沿って、より良いサービス提供を目指し課題改善に取り組みます。また、長期欠席者の課題解消、成長が感じられたアート部門の拡充、義務化となった虐待防止委員会（みんなを守ろう委員会）の充実に取り組みます。

分場「しごと場大好き 国領」：日々の日課を通して生活の安定を目指し、仲間と共に楽しく穏やかな日々を過ごしながらか社会で生きるための術を磨きます。

3. メンバーの処遇

(1) 生活支援

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(2) 創作活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にしたい生産活動を行います。

4. 活動内容

「しごと場大好き」

(1) 日常生活上の支援を提供

ADLが未自立なメンバーに対して、介護など日常生活上の支援を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上に努めます。

(2) 創作活動の機会の提供

創作活動を通して、身体能力、日常生活能力の維持・向上を図ります。分場との連携を意識し積極的に交流の機会を設けます。

(3) 簡易受託受注事業

封入封緘や下請け怪作業、ポスティングなどを通して地域への障害者理解を促進し、働く事への意欲を喚起します。

(4) その他の事業

①社会体験活動（公共交通機関利用の実践／買い物実践／コミュニケーションマナーなどのグループ活動）

②地域に根ざした活動（地域向け施設開放行事各種／公園清掃／道路清掃／駐輪場清掃）

③受託事業、食品加工事業などB型事業所との共同事業

④自立訓練（日常の生活や作業の中で、個別支援等を通じて社会生活に生きるプログラムを提供して行く）

⑤在宅支援：大規模震災水災害、感染症拡大他、在宅による支援がやむを得ないと市区町村が判断した場合、在宅での支援を提供する場合があります。

⑥専門職による支援：理学療法士、言語聴覚士、彫金作家など専門職に定期的に来訪いただき各分野の知識と技術でメンバー支援の質を上げる。

⑦リハビリ：ストレッチ、ダンス、トレーニング等を通じて身体的退行抑制に努めます。

分場「しごと場大好き国領」

(1) 生活力の向上と維持

ADL が未自立なメンバーに対し、日常的なサポートに加え自分で判断する力を伸ばしていけるような取り組みを行うことで自発性の向上を目指します。

(2) 作業の取り組み

メンバー個々の能力に応じた作業提供を行います。難しいと感じる作業に対して工程の細分化（モジュールステップ）や多角的な視野を持ち、作業にメンバーを合わせるのではなくメンバーに作業を合わせ、技術の習得を目指します。また、それぞれの特性を生かした作業や社会との繋がりを持つような作業を開拓していきます。

作業項目

自主製品の制作と販売

- ・紙すき（手すきコースター）
- ・コインを使ったアクセサリ作り（リング・コンチョ・ミサンガ）
- ・皮のキーホルダー作り
- ・メンバーデザインの人形作り
- ・シルクスクリーンでの製品作り（Tシャツ・手ぬぐい）

受注作業

- ・定期清掃・駐輪場清掃・ポスティング・フリンジ等

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施します。

所長	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

分場では独自の防災計画を作成し避難訓練等を年2回実施します。

主任	総指揮（防火管理責任者）
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
機能訓練指導員	避難訓練担当者

6. 日課

職員出勤 打合せ・送迎	8 : 30
通所	9 : 00
打合せ・準備	9 : 15
作業開始	9 : 15～12 : 00
昼食・休憩	12 : 00～13 : 00
作業開始	13 : 00～15 : 00
作業終了・片付け・掃除	15 : 00～15 : 45
打合せ・帰宅準備・帰宅	15 : 45～16 : 00
送迎	16 : 00～16 : 45
職員打合せ	17 : 00
閉所	17 : 30

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 援助主任：矢内 真澄 042-486-1022

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

分場

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 分場主任：上野 秀幸 042-444-3733

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。分場においても同じ機会を利用し相談を受ける。

9. 職員名簿

しごと場大好き

職 名	氏 名	資 格
所 長 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
生活支援員・援助主任	矢内 真澄	介護福祉士
生活支援員・調理主任	亀田 弘美	
機能訓練指導員	広沢 真	社会福祉士
生活支援員	米倉 佳の子	介護福祉士 社会福祉士
生活支援員	三谷 雄毅	
生活支援員	日下石 誠	
生活支援員	佐藤 愛	
生活支援員	牧田 洋子	
生活支援員	未定	
事務職員・支援員兼務	松原 中代	
看護職員 (非常勤)	上田 砂恵子	看護師

分場「しごと場大好き国領」

職 名	氏 名	資 格
所 長（兼務） （管理者・サービス管理責任者）	亀田 良一郎	社会福祉士
機能訓練指導員・援助主任	上野 秀幸	介護福祉士
生活支援員	山口 紋乃	
生活支援員	澤上 美穂子	

10. 職員研修計画

職員個々に応じたキャリアアップを実感できる研修を実践していきます。

11. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないます。

Ⅲ 就労継続支援B型「しごと場大好き」・出張所「カフェ大好き」の運営
【就労継続支援B型「しごと場大好き」】

所在地 東京都調布市布田3-20-1

利用定員 20名 現員23名

職員定数

所 長（管理者）	1名（常勤）
サービス管理責任者	1名（常勤・所長兼務）
職業指導員	3名（常勤 1名、非常勤2名）
生活支援員	2名（常勤 1名、非常勤1名）
目標工賃達成指導員	1名（常勤）
事務職員	1名（非常勤）

1. 事業運営基本計画

指定就労継続支援（B型）の事業は、通所メンバー（以下メンバーとする）が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害者自立支援法施行規則第六条の十第二号に規定する者に対して就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

昨年は、想定外の2年続けてのコロナ禍で販売機会や場所の減少が続き生産活動収入をコロナ禍以前に戻すことはできなかった。それでも、菓子や雑貨では新商品も生まれ売り上げに貢献

し、喫茶部門も周辺環境の変化からか昨年を上回る収入となった。どこまでコロナ禍が続くか不透明だが、今年度は大規模店への出店も予定されているので、平均工賃3万円を達成できるレベルの収入に引き上げたい。また、業者委託でICTを活用した各種記録作成のシステム構築を生活介護部門、グループホームなどと一体的に完成させて支援記録の充実を図りたい。

3. メンバーの処遇

(1) 生産活動援助

メンバーの意思や個性・特性を尊重し、社会との結びつきを大切にした生産活動を行います。

(2) 生活指導

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と機能の向上に努めます。

(3) 職業訓練指導

就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等の提供を行います。その中で施設外就労による訓練も行っています。

4. 生産活動内容

(1) 受託事業

地域貢献に繋がる行政からの委託事業を通して、仕事に対する誇りと責任を培います。施設外就労にも積極的に取り組んでいきます。(牛乳パック回収、公園清掃、メール交換、ポスティング、駐輪場散水、クリンセンター清掃)

(2) 自主製品事業

創作活動(芸術活動)とその販売を通して、地域への障害者理解の促進と働くことへの意欲を喚起します。都運営の福祉ショップ「KURUMIRU」での販売や障害者アート展にも積極的に取り組みます。(陶芸、組みひも、ポストカード他)

(3) 喫茶事業

駅前商店街での喫茶店、福祉ショップ営業(カフェ大好き)での仕事を通して社会人として必要な知識、能力を培います。

(4) 食品加工事業

食品製造、加工、販売を通しての社会人に必要な知識、能力を培います。また食品表示や、バーコード表示、トップシールの対応等にも対処し安全性を高め、更なる販路開拓に取り組めます。(カフェ大好きでの販売食品、菓子の製造、加工)(ジェラートの製造、加工、販売)

5. 防災計画

しごと場大好き防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施します。

所長	総指揮
生活支援員	救助担当・連絡・報告担当
目標工賃達成指導員	救助担当・連絡・報告担当
職業指導員	消火・救助担当

6. 日 課

職員出勤	8 : 3 0
通所	9 : 0 0
打合せ・準備	9 : 1 5
作業開始	9 : 1 5 ~ 1 2 : 0 0
昼食・休憩	1 2 : 0 0 ~ 1 3 : 0 0
作業開始	1 3 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0
作業終了・片付け・掃除	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 4 5
打合せ・帰宅準備・帰宅	1 5 : 4 5 ~ 1 6 : 0 0
送迎	1 6 : 0 0 ~ 1 6 : 4 5
職員打合せ	1 7 : 0 0
閉所	1 7 : 3 0

7. 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置く

8. 第三者委員 *生活介護事業所と共同

三田 恵美（特別支援学校教員） 伊藤 正子（元特別支援学校教員）の2名を置く。

大好き市の他、年に数回の相談日を設け、メンバー、家族の希望者から相談を受ける。出張所においても同じ機会を利用し相談を受ける。

9. 職員名簿

職 名	氏 名	資 格
所 長 *生活介護と兼務 (管理者・サービス管理責任者)	亀田 良一郎	社会福祉士
職業指導員 *カフェ大好き店長	後藤 朋子	
生活支援員	小星 牧古	社会福祉士
生活支援員	廣末 可奈子	
目標工賃達成指導員	水上 結	
職業指導員	高木 里美	
職業指導員	小林 美菜子	
事務職員*グループホーム管理者 と兼務	内田 喜則	

10. 職員研修計画

キャリアアップが実感できる研修体制の実施に取り組みます。

11. 資金計画

通常の運営経費は運営費でまかないます。また、財政状況を見極めながら修繕、工賃等の積立金を継続して行きます。

【出張所「カフェ大好き」】

所在地 東京都調布市多摩川5-7-4京王多摩川88ビル1F

1. 基本方針

- (1) 市民と直に接する機会を積極的に持ち、市民に理解を求めるとともに多くの社会的体験を得る場とする。
- (2) 地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売する場とする。
- (3) 就労をした障碍のある仲間が、帰宅途中気がねなく立ち寄り、英気を養える場となるよう努める。
- (4) 週末に営業することで、障碍のある仲間の余暇活動をサポートする場となるよう努める。
- (5) 地域に根ざした活動をする。
- (6) 就労継続支援施設B型「しごと場大好き」の出張所として、店舗営業の作業に取り組むことで「仕事」という意識により強く働きかける場とする。

2. 今年度方針

2021年度は、コロナ禍における新しい様式での営業(席数半減、仕切り版設置、机椅子レイアウト変更、来客者の検温など)を継続して行いました。厳しい営業体制が続きましたが、来客状況はよく大入り袋を出せる月もありました。感染症予防対策を続けながらお客様が安心できる営業を続けます。

開店25周年を迎える年であった年度内に、予定していた周年祭を実施することができませんでした。メンバーのアイデアを形にした「大好きらしさ」の出るようなイベントを実施しいつものお客様にお礼をする機会とすることと、制服のリニューアルについて検討したいと思います。

3. 事業

(1) 事業活動

①喫茶事業(喫茶店の営業)

調理業務に関心を示すメンバーも多くなってきたことから、少しずつ調理に関わる機会を増やし、日々の仕事で達成感を得られるようにします。また、メニューブックの劣化がみられ、新調を検討します。

②福祉ショップ事業

地域の作業所の自主製品を広く市民に紹介し、積極的に販売します。定期的な商品入れ替えも働きかけていきます。

③地域交流事業(展覧会/講演会等)

C a f eの無料ギャラリーを地域住民に一般開放し、展示会等の文化的活動の発信の場として取り組んでいきます。新型コロナウイルス感染拡大にともない休止中の「ひだまりサロン」事業については、再開された際に会場提供することで一般市民の社会交流の場作りに引き続き協力します。

(2) 利用者の処遇

- ①常時十分な処遇が受けられるスタッフの配置をこころがけます。
- ②個別の状況に応じた労働環境の提供をこころがけます。(加齢への対応、積極的な調理への参加等)
- ③安定した工賃収入が得られるよう努力します。
- ④家族と連絡を密にとり、メンバーの状況の変化を見逃さないようにします。

(3) メンバー会議

しごと場大好きの日曜日の取り組みに合同で参加します。

(4) 広報・情報提供活動

ホームページ、フェイスブック等を活用して、カフェ大好きの情報発信をします。

4. 運営・管理

(1) 運 営

出張所として、適正な運営を行います。

(2) 資金計画

通常の運営資金は運営費でまかないます。

(3) 衛生管理

- ①掃除を徹底し、常に店内や器具類を清潔に保ちます。
- ②手洗いや爪切りを徹底し、常に体を清潔にするよう努めます。
- ③食品の取り扱いには充分注意します。
- ④定期的に衛生管理チェックを行います。検便を年2回実施します。(4月・10月)

(4) 保守管理

気持ちよくお客様を迎えられる環境を保つため毎日清掃を行い、建物を美しく維持管理することに努めます。

(5) 防災計画

防災計画を作成するとともに、避難訓練を実施します。

(6) 苦情解決

苦情対応規定に基づき苦情受付担当 生活支援員：後藤 朋子 042-481-3933

苦情解決責任者 所長：亀田 良一郎 042-486-1022 を置きます。

苦情対応マニュアルに基づき、迅速な対応を心がけます。

(7) 第三者委員

三田 恵美(特別支援学校教員) 伊藤 正子(元特別支援学校教員)の2名を置きます。

(8) 施設間の連絡調整

- ①他の施設と積極的に連携し、職員の交流と施設運営の経験交流を図ります。
- ②全国喫茶コーナー交流会の活動に積極的に参加し、喫茶店事業を営む作業所と連携を深めるよう努力します。

(9) 研 修

外部研修への参加が難しいため(コロナ禍により)、メンバー職員一緒に取り組めるような内部研修の機会を模索します。

IV 共同生活援助グループホームDAISUKIの運営

所在地 東京都調布市国領町7丁目3番地3 MFタウン国領
利用定員 5名 区分5：1名、区分4：2名、区分3：2名
職員数

- 一 所長（管理者） 1名（常勤）
- 二 サービス管理責任者 1名（兼務：常勤の生活支援員と兼務）
- 三 生活支援員 2名（常勤1名・非常勤1名）
- 四 世話人 5名（非常勤）

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で豊かに愉快にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

移転はしたものの賃貸契約期間は3年ということで、この3年の間に終の棲家を探すということで、取り組みを開始している。建て貸し物件で、入居者5人、ショート1床他、世話人室とLDK、風呂、トイレ（2つ）の物件を探すこととなる。施設の広さのためか経費（固定費）がかさむため、経費の節減に努め安定した運営を心掛ける。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整
等生活に必要な援助

5. 防災計画

DAISUKI 防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

- 所長 総指揮（防火管理責任者）
- 生活支援員 救助担当・消火担当・連絡・報告担当
- 世話人 救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022（法人本部） を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食300円、昼食300円、夕食600円）

家賃：42,000円 光熱水費、日用品費、雑費など実費

8. 職員名簿

職名	氏名	資格
所長 (管理者)	内田 喜則	
生活支援員 (サービス管理責任者)	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人	三宅 八江子	ホームヘルパー1級 介護福祉士 介護支援専門員
世話人	桜井 洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
世話人	小島良太	
世話人	新井久美子	
生活支援員 (世話人を兼務)	山口とも子	

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

V 共同生活援助グループホームDAISUKIパンプキンの運営

所在地 東京都調布市染地2-27-6

利用定員 5名 区分6:1名、区分5:2名、区分3:2名

職員数

- | | |
|-------------|----------------|
| 一 所長(管理者) | 1名(常勤) |
| 二 サービス管理責任者 | 1名(常勤) |
| 三 生活支援員 | 7名(常勤1名・非常勤6名) |
| 四 世話人 | 6名(非常勤) |
| 五 看護師 | 1名(非常勤) |

1. 事業運営基本計画

指定共同生活援助の提供に当たっては、メンバーが地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、メンバーの身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて共同生活住居において入浴、排せつ又は食事等の援助、相談その他の日常生活上の援助を適切かつ効果的に行うものとする。また、メンバーが住み慣れた地域で、豊かに愉快地にゆうゆうと暮らし、自己実現できるようにそれぞれに応じた支援を提供するとともに、人間性を尊重した事業運営に努める。

2. 今年度方針

今年度は、安定した運営を進めるための1年とするために、打ち合わせや情報共有を中心に据えて、取り組んでいくことを推進する。入居メンバーが、安心して帰ってこられる場となるように努めていきたい。特に、働く方々が長く務め続けることができる環境を作っていきたい。

3. メンバーの処遇

メンバーの基本的な人権を尊重し、常にメンバーの立場に立って、心身の健康保持と社会生活力の向上に努める。

4. 事業内容

- (1) メンバーに対する相談
- (2) 食事、入浴の提供
- (3) 健康管理
- (4) 金銭管理の援助
- (5) 余暇活動の支援
- (6) 職場、家庭等関係者への連絡調整等生活に必要な援助

5. 防災計画

DAISUKIパンプキン防災計画を作成するとともに、避難訓練等を年2回実施する。

所長	総指揮(防火管理責任者)
生活支援員	救助担当・消火担当・連絡・報告担当
世話人	救助担当・消火担当

6. 苦情解決

苦情対応規程に基き苦情受付担当 生活支援員：山口 寛孝 042-480-0231

苦情解決責任者 所長：内田 喜則 042-486-1022（法人本部） を置く

7. メンバーから受領する費用

指定共同生活援助事業に係る利用料は、各区市町村長が定める基準額によるものとし、当該指定共同生活援助が法定代理受領のサービスであるときは、厚生労働大臣が定める基準額の1割の額とする。ただし、各区市町村長が定める月額負担上限額の範囲内とする。また、日常にかかる経費は次のように定める。

食材料費（朝食300円、昼食300円、夕食600円）

家賃：61,200円 水光熱・電話・jcom費、日用品費、事務用品費など実費

8. 職員名簿

職名	氏名	資格
所長 (管理者)	内田 喜則	
生活支援員 (サービス管理責任者)	山口 寛孝	ホームヘルパー2級 精神保健福祉士 介護福祉士
世話人 (兼務)	桜井洋子	ホームヘルパー2級 介護福祉士
生活支援員	原田美由紀	
生活支援員	師井佳子	介護福祉士
世話人	高橋由美子	介護福祉士
世話人	織田麗子	
生活支援員 (世話人を兼務)	来田めぐみ	
生活支援員	原 泉	
生活支援員 (兼務)	山口とも子	
生活支援員	北林博子	
世話人	田中真奈	
世話人	何思瑾	
看護師 (兼務)	上田砂恵子	看護師

9. 資金計画

通常の運営経費は、運営費でまかないます。

10. 研修計画

調布市社会福祉事業団の研修・グループホーム連絡会主催の研修・東京都主催の研修などに参加します。援助技術の専門性を高める事を目的として、研修会等に積極的に参加します。法人の取り組みにも参加します。

VI その他の事業・活動

1. 障害者の社会参加を支援する活動

交流活動（年間を通して随時）

四季折々の行事で障害者と市民とが交流する機会を設けます。

2. 広報・情報提供活動

(1) 会報の発行等

会報を発行、配布することで広く法人の活動を知ってもらえるようにします。

(2) 情報提供活動

ホームページを活用し、法人のリアルタイムな情報を提供できるようにします。

3. 市民参加型事業・活動の開発と企画・実施

(1) 「それはおしゃれなコンサート（第28回）」の実施

日時： 日時未定

会場： 会場未定

障害の有無にかかわらず、身近な地域で本格的なコンサートを共に楽しむことを目的としたコンサートを開催します。

4. 協力・連携事業

(1) バザーの実施

(2) 文化的活動の実施

(3) 他団体等への支援・協力活動の実施

VII. 組織運営

1. 組織運営

社会福祉事業 「しごと場 大好き」・「カフェ 大好き」・「しごと場大好き国領」グループホーム「DAISUKI」・グループホーム「パンプキン」を運営する態勢を整えるとともに、事業・活動を円滑に進めるため、組織運営の確立を図ります。

(1) 理事会、評議員会の開催 *予定

第1回理事会	6月11日（土）	第1回定時評議員会	6月26日（日）
第2回理事会	9月3日（土）		
第3回理事会	11月26日（土）		
第4回理事会	1月28日（土）		
第5回理事会	3月11日（土）	第2回評議員会	3月25日（土）

※評議員会は、上記2回の他、必要に応じて理事会が招集する。

(2) 事務局の確立による事務処理の円滑化

事務部門の体制の確立を目指して、職務分掌の洗い出し、年間のスケジュール化等を行い、法人監査が滞りなく終わるように未整備部分の手直しを行います。以下は事務局会議日程（予定）です。

4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、9/26、10/24、11/14、12/19、1/16、2/23、3/27

(3) 市民の参画を得るための委員会の確立

バザーやコンサートなど一般市民と共に行事を企画段階から作り上げていきます。

(4) 理事・監事、評議員の研修実施

適正な運営をするため、役員の研修の機会を設けます。

2. 財源の開拓・確保

長期的な展望をもった事業・活動を運営していくために、自主財源の充実に努めます。

(1) バザー等の計画的実施

一般市民の方々から提供いただいた品物をリサイクル販売するチャリティーバザーを実施します。

2022年度 予算書内訳表

(自)令和 4年 4月 1日 (至)令和 5年 3月31日

2022年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム
収入	就労支援事業収入	20,562,000		6,955,000	13,607,000	
	受託事業収入	44,300,000		3,800,000	40,500,000	
	喫茶事業収入	5,927,000			5,927,000	
	自主製品事業収入	703,000		320,000	383,000	
	菓子、調理製造事業収入	3,505,000		1,596,000	1,909,000	
	アイスクリーム製造事業収入	2,009,000		930,000	1,079,000	
	簡易受託受注事業収入	340,000		200,000	140,000	
	仕入れ商品売り上げ収入	228,000		109,000	119,000	
	障害福祉サービス等事業収入	167,798,000		75,024,000	53,205,000	39,569,000
	自立支援給付費収入	140,723,000		69,064,000	43,200,000	28,459,000
	介護給付費収入	69,064,000		69,064,000		
	訓練等給付費収入	71,659,000			43,200,000	28,459,000
	利用者負担金収入	360,000		360,000		
	特定費用収入					11,110,000
	その他の事業収入	15,605,000		5,600,000	10,005,000	
	補助金事業収入	15,605,000		5,600,000	10,005,000	
	借入金利息補助金収入	165,000		150,000	15,000	
	経常経費寄附金収入	4,166,000	1,800,000	1,167,000	1,199,000	
	受取利息配当金収入	86,000	80,000	2,000	3,000	1,000
	その他の収入	3,122,000	2,500,000	30,000	523,000	69,000
受入研修費収入	33,000		10,000	23,000		
利用者等外給食費収入					58,000	
雑収入	3,031,000	2,500,000	20,000	500,000	11,000	
雑収入	3,031,000	2,500,000	20,000	500,000	11,000	
事業活動収入計(1)		195,899,000	4,380,000	83,328,000	68,552,000	39,639,000
事業活動による収支	人件費支出	125,340,000	192,000	65,605,000	37,701,000	21,842,000
	役員報酬支出	192,000	192,000			
	職員給料支出	64,470,000		36,240,000	23,456,000	4,774,000
	職員賞与支出	13,935,000		7,640,000	5,235,000	1,060,000
	非常勤職員給与支出	30,590,000		12,000,000	3,706,000	14,884,000
	退職給付支出	2,292,000		1,550,000	670,000	72,000
	法定福利費支出	13,861,000		8,175,000	4,634,000	1,052,000
	事業費支出	13,969,000		4,080,000	4,992,000	4,897,000
	給食費支出					2,249,000
	保健衛生費支出	1,600,000		750,000	850,000	
	被服費支出	10,000		10,000		
	教養娯楽費支出	450,000		200,000	230,000	20,000
	水道光熱費支出	4,520,000		1,420,000	1,600,000	1,500,000
	消耗器具備品費支出	1,440,000		470,000	530,000	440,000
	保険料支出	470,000		175,000	220,000	75,000
	賃借料支出	300,000			300,000	
	教育指導費支出	430,000		200,000	230,000	
	葬祭費支出	20,000		10,000	10,000	
	車輛費支出	1,706,000		770,000	900,000	36,000
	雑支出	565,000		25,000	80,000	460,000
	地域交流費支出	92,000		50,000	42,000	
	事務費支出	25,578,000	3,259,000	4,194,000	6,497,000	11,628,000
	福利厚生費支出	256,000		164,000	85,000	7,000
	職員被服費支出	20,000			20,000	
	旅費交通費支出	105,000	72,000	20,000	13,000	
	研修研究費支出	110,000		70,000	40,000	
	事務消耗品費支出	673,000	130,000	150,000	206,000	187,000
	印刷製本費支出	159,000	130,000	10,000	19,000	
	修繕費支出	430,000		200,000	230,000	
	通信運搬費支出	1,162,000	25,000	260,000	320,000	557,000
	会議費支出	10,000		10,000		
	広報費支出	380,000	60,000	165,000	155,000	
	業務委託費支出	3,220,000		1,500,000	1,720,000	
	その他の委託費支出	3,220,000		1,500,000	1,720,000	
	手数料支出	195,000	2,000	80,000	100,000	13,000
	保険料支出	344,000	64,000	280,000		
	土地・建物賃借料支出	14,359,000		660,000	2,839,000	10,860,000
	租税公課支出	909,000	56,000	350,000	500,000	3,000
	保守料支出	356,000	11,000	145,000	200,000	
	渉外費支出	10,000			10,000	
	諸会費支出	55,000	9,000	25,000	20,000	1,000
	雑支出	2,825,000	2,700,000	105,000	20,000	
	共済財団退職金掛金支出					
	雑支出(事務)	2,825,000	2,700,000	105,000	20,000	
	就労支援事業支出	21,470,000		7,372,000	14,098,000	
	就労支援事業販売原価支出	21,470,000		7,372,000	14,098,000	
	就労支援事業支出	21,470,000		7,372,000	14,098,000	
支払利息支出	115,000		50,000	65,000		
その他の支出	8,000		3,000	5,000		
利用者等外給食費支出	8,000		3,000	5,000		
事業活動支出計(2)		186,480,000	3,451,000	81,304,000	63,358,000	38,367,000
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		9,419,000	929,000	2,024,000	5,194,000	1,272,000

2022年度 予算書内訳表

(自)令和 4年 4月 1日 (至)令和 5年 3月31日

2022年3月時点 (単位:円)

勘定科目		法人合計	法人本部	生活介護	就労継続支援B型	グループホーム	
施設整備等による収支	収入						
	施設整備等収入計(4)						
	設備資金借入金元金償還支出	1,540,000		1,540,000			
	固定資産取得支出	182,000		182,000			
	器具及び備品取得支出	182,000		182,000			
	施設整備等支出計(5)	1,722,000		1,722,000			
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,722,000		△ 1,722,000			
その他の活動による収支	収入						
	積立資産取崩収入	908,000		417,000	491,000		
	工賃変動積立資産取崩収入	908,000		417,000	491,000		
		その他の活動収入計(7)	908,000		417,000	491,000	
	支出						
	積立資産支出	652,000		302,000	350,000		
退職給付引当資産支出	652,000		302,000	350,000			
	その他の活動支出計(8)	652,000		302,000	350,000		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	256,000		115,000	141,000		
	予備費支出(10)						
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,953,000	929,000	417,000	5,335,000	1,272,000	
	前期末支払資金残高(12)	134,467,426	48,051,834	42,837,145	40,362,664	3,215,783	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	142,420,426	48,980,834	43,254,145	45,697,664	4,487,783	

一年間の活動日誌

2021年4月1日～2022年3月31日

法人本部の活動



- | | |
|---|--|
| <p>4 </p> <ul style="list-style-type: none"> 9 GHDA ISUKI 移転プロジェクト① 12 第4期将来構想プロジェクト⑬ 21 会計監査 26 第4期将来構想プロジェクト⑭ 会報発送 (No.175) | <p>5 </p> <ul style="list-style-type: none"> 22 監事監査 24 第4期将来構想プロジェクト⑮ 29 将来構想拡大プロジェクト 31 法人事務局会議① GHDA ISUKI 移転お引越し |
| <p>6 </p> <ul style="list-style-type: none"> 1 GHDA ISUKI 移転お引越し 3 GHDA ISUKI 移転完了 入居スタート 5 理事会① 21 評議員選任委員会 23 会計監査 26 評議員会①・理事会②・会報発送 (No.176) 28 第4期将来構想プロジェクト⑯ | <p>7 </p> <ul style="list-style-type: none"> 19 コンサートプロジェクト 20 会計監査 GHDA ISUKI 移転プロジェクト② 26 法人事務局会議② |
| <p>8 </p> <ul style="list-style-type: none"> 9 夏季休業 (～15日) 18 法人事務局会議③ 19 第4期将来構想プロジェクト⑰ 25 会計監査 28 会報発送 (No.177) | <p>9 </p> <ul style="list-style-type: none"> 3 30周年プロジェクト① 22 会計監査 27 法人事務局会議④ 29 30周年プロジェクト② 30 第4期将来構想プロジェクト⑱ |
| <p>10 </p> <ul style="list-style-type: none"> 9 理事会③ 15 30周年プロジェクト③ 23 会報発送 (No.178) 25 法人事務局会議⑤ 26 会計監査 27 第4期将来構想プロジェクト⑲ | <p>11 </p> <ul style="list-style-type: none"> 27 理事会④ 29 法人事務局会議⑥ 30 会計監査 |
| <p>12 </p> <ul style="list-style-type: none"> 3 30周年プロジェクト④ 8 第三者評価 (NPO人材開発機構) 運営聞き取り調査 10 第4期将来構想プロジェクト⑳ 18 会報発送 (No.179) 20 法人事務局会議⑦ 27 第4期将来構想プロジェクト㉑ 29 冬季休業 (～1月3日) | <p>1 </p> <ul style="list-style-type: none"> 8 「将来構想拡大プロジェクト」延期 11 コンサートプロジェクト 16 「それはおしゃれなコンサート」中止 17 法人事務局会議⑧ 24 第4期将来構想プロジェクト㉒ 26 会計監査 |
| <p>2 </p> <ul style="list-style-type: none"> 5 理事会⑤ 餅つき会中止 21 法人事務局会議⑨・評議員会② 26 会報発送 (No.180) 28 会計監査 | <p>3 </p> <ul style="list-style-type: none"> 3 法人事務局会議⑩ 12 理事会⑥ 26 評議員会③ 30 第4期将来構想プロジェクト㉓ 会計監査 |

しごと場大好き



- | | |
|---|---|
| <p>4 </p> <ul style="list-style-type: none"> 5 令和3年度通所式 7 ケース会議 (以降毎週水曜日定例開催) 職員会議 9 年間皆勤賞・職員会議 12 社会体験活動ークリーンウォーク 言語聴覚士来所 19 社会体験活動ー買い物 26 社会体験活動ークリーンウォーク リスクマネジメント委員会① 29 ファミリー中止 | <p>5 </p> <ul style="list-style-type: none"> 10 言語聴覚士来所 12 職員会議 17 音楽療法 ♪ 20 内部研修「吐しゃ物処理講習会」 24 社会体験活動ーグループ活動 26 スイーツ情報誌「u f u」取材 遠藤パティシエ・木下財団来所 28 理学療法士来所 29 ファミリー 31 社会体験活動ークリーンウォーク |
|---|---|

- 6
- 2 職員会議
 - 7 社会体験活動ーダンス&ゲーム
 - 14 社会体験活動ークリーンウォーク
 - 19 ほりで〜ぶらん
 - 21 社会体験活動ーグループ活動
 - 言語聴覚士来所
 - 26 ファミリー
 - 28 社会体験活動ーダンス&ゲーム
 - 29 理学療法士来所
 - ドクターの健康チェック

- 7
- 7 職員会議
 - 9 夏期ボーナス支給
 - 12 社会体験活動ー買物
 - 13 コロナワクチン2回目集団接種ー①
 - 14 調布産ブルーベリー狩り
 - 19 社会体験活動ーグループ活動
 - 20 コロナワクチン2回目集団接種ー②
 - 作業療法士来所
 - 28 内部研修「BCP策定研修①」
 - 31 ファミリー中止

- 8
- 3 コロナワクチン2回目集団接種ー③
 - 日本テレビ「ZIP! in 24時間TV」取材
 - 4 職員会議
 - 9 夏期休業(〜15日)
 - 10 コロナワクチン2回目集団接種ー④
 - 16 音楽療法♪
 - 20 バラリンピック聖火点灯
 - 22 日本テレビ「ZIP! in 24時間TV」放送
 - 23 夏祭り&映画鑑賞
 - 24 ゆずの木学童クラブジェラート出張販売
 - 25 希望の家夏祭り出店
 - 26 富士見児童館ジェラート出張販売
 - バラアート展(〜9/4日)
 - 27 研修「人権研修-Web版」2名参加
 - 28 ファミリー中止
 - 30 社会体験活動ーグループ活動・言語聴覚士来所
 - 研修「虐待防止講習」(・31日)
 - 31 作業療法士来所

- 9
- 1 職員会議
 - 2 支援計画会議①
 - 6 防災訓練
 - 7 ドクターの健康チェック
 - 研修「BCP講習」1名参加
 - 9 支援計画会議②
 - 13 社会体験活動ー買物
 - 14 理学療法士来所
 - 16 支援計画会議③
 - 研修「ICT講習」1名参加・「人権研修-Web版」1名参加
 - 25 ファミリー中止
 - 27 社会体験活動ーグループ活動
 - 28 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)①

- 10
- 1 組み紐サークル展出店(〜3日)
 - 4 社会体験活動ークリーンウォーク
 - 6 職員会議
 - 8 上半期特別ボーナス支給
 - 11 社会体験活動ーグループ活動・言語聴覚士来所
 - 12 ドクターの健康チェック
 - 13 第三者評価(NPO人材開発機構)説明会
 - 14 内部研修「メンバーの特性考察・支援の方向性」
 - 15 研修「初任者研修」1名参加・コロナ感染BCP読み合わせ
 - 18 音楽療法♪
 - フードドライブ参加
 - 19 理学療法士来所
 - 23 ファミリー
 - 25 社会体験活動ー買物
 - 27 第三者評価(NPO人材開発機構)メンバー聞き取り調査(・28日)
 - 28 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)②

- 11
- 1 社会体験活動ークリーンウォーク
 - 6 ほりで〜ぶらん
 - 10 職員会議
 - 15 ドライブ&ウォーキング&館内清掃
 - 16 理学療法士来所
 - 24 交換研修
 - 25 交換研修・みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)③
 - みどりヶ丘児童館ジェラート出張販売
 - 27 ファミリー
 - 29 社会体験活動ーグループ活動・言語聴覚士来所
 - 第三者評価(NPO人材開発機構)事業所聞き取り調査

- 12
- 1 職員会議
 - 2 千鳥扇子体験
 - 6 音楽療法♪
 - 7 インフルエンザ予防接種
 - 9 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)④
 - 10 研修ー「行動援護研修」(1名参加)(.11.14.15日)
 - 冬期ボーナス支給
 - 13 社会体験活動ー買物
 - 16 健康診断
 - 18 ファミリー
 - 20 クリスマス会
 - 21 ドクターの健康チェック・理学療法士来所
 - 22 柏野学童クラブジェラート出張販売
 - 23 内部研修「メンバーの特性考察・支援の方向性」
 - 27 大掃除(・28日)消防点検
 - 29 冬季休暇(〜1/3日)

- 1
- 4 仕事始め
 - 5 職員会議
 - 13 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)⑤
 - 15 ほりで〜ぶらん
 - 17 成人を祝う会・社会体験活動ーグループ活動
 - 18 理学療法士来所
 - 19 千鳥扇子ワークショップ参加
 - 22 ファミリー中止
 - 24 音楽療法♪
 - 27 消防点検(布田・国領)
 - 31 社会体験活動ーグループ活動

- 2
- 2 職員会議
 - 西部公民館作品展示会(〜2/23)
 - 3 千鳥扇子ワークショップ参加
 - 7 社会体験活動ークリーンウォーク
 - 8 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)⑥
 - 14 ごみカレンダー配布開始・言語聴覚士来所
 - 15 理学療法士来所・職員面談開始
 - 22 コロナワクチン3回目集団接種ー①
 - 26 ファミリー

- 3
- 1 コロナワクチン3回目集団接種ー②
 - 2 職員会議
 - 8 みんなを守ろう委員会(虐待防止委員会)⑦
 - 9 支援計画会議①
 - 11 個別面談開始
 - 14 社会体験活動ーグループ活動・言語聴覚士来所
 - 避難訓練・送迎訓練
 - 17 支援計画会議②
 - 21 2021年度総括会議
 - 24 支援計画会議③
 - 26 ファミリー
 - 28 音楽療法♪
 - 29 理学療法士来所

Cafe大好き



4 | ギャラリー企画「ぼむばるく展」

- 2 やさしい写真教室
- 9 年間皆勤賞

5 | ギャラリー企画「しごと場大好き作品展」

- 7 やさしい写真教室
- 31 らっきょう漬け(こぶしの会)

6 | ギャラリー企画「愛染てらにしビーズ展」

- 4 やさしい写真教室
- 18 多摩川児童館ケータリングカー出張販売

7 | ギャラリー企画「ミックスリーブス展」

- 2 やさしい写真教室

8 | ギャラリー企画「組み紐作品展」

- 3 日本テレビ「ZIP! in 24時間TV」取材
- 9 夏期休業(～16日)
- 22 日本テレビ「ZIP! in 24時間TV」放送

9 | ギャラリー企画「TOKYO2020展」

- 8 アビリンピック補佐員研修受け入れ

10 | ギャラリー企画「Ichigo クラフト展」

- 1 やさしい写真教室
- 8 上半期特別ボーナス支給
- 11 調布市「月曜日のランチマーケット」出店

11 | ギャラリー企画延期

- 1 調布市「月曜日のランチマーケット」出店
- 5 やさしい写真教室
- 6 富士見台小学校 街探検受け入れ
- 15 調布市「月曜日のランチマーケット」出店
- 23 おしゃれなバザー中止

12 | ギャラリー企画「ミックスリーブス展」

- 1 避難訓練
- 3 やさしい写真教室
- 29 冬季休業(～1月3日)

1 | ギャラリー企画「なし」

- 14 やさしい写真教室

2 | ギャラリー企画「Yocochy (キルト) 展」

- 1 ねこまつり開催(～27日)
- 4 やさしい写真教室

3 | ギャラリー企画「グループKUL展」

- 4 やさしい写真教室



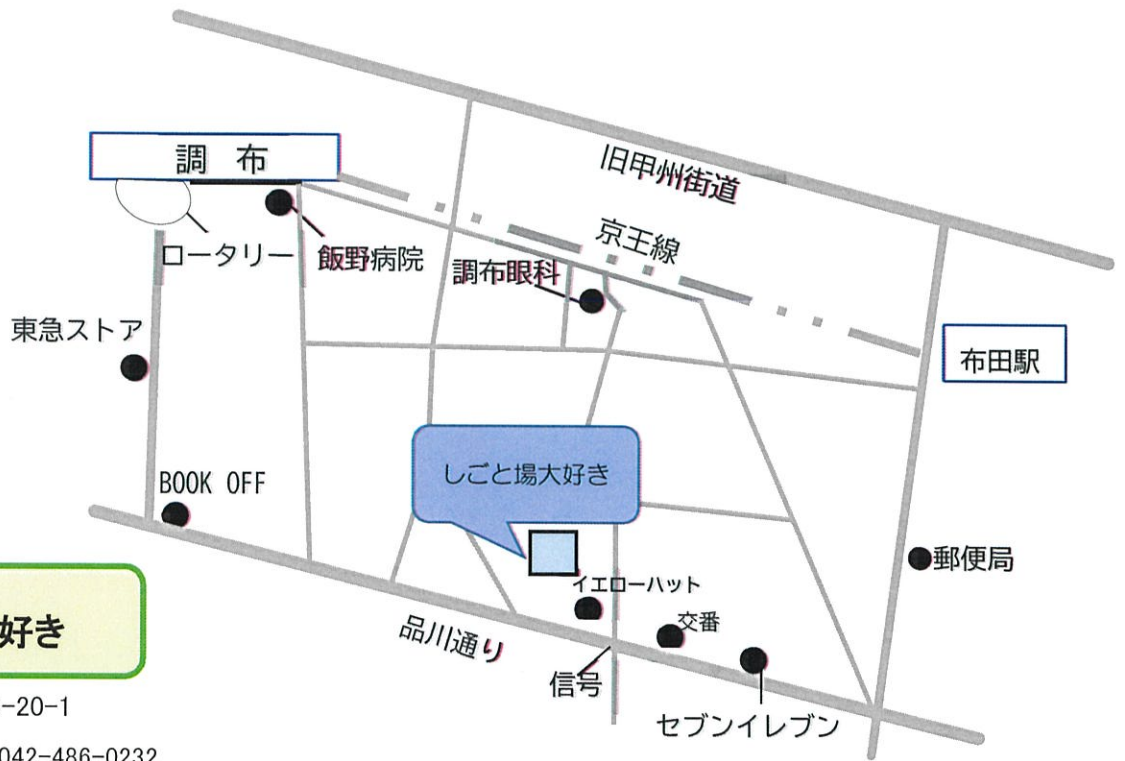
2022年度 役員体制

2022年8月現在

役職名	氏名	所属等
理事長	原 良男	保護司
理事	杉本 勝	上布田自治連合会第三自治会長
理事	増淵 貞夫	利用者保護者
理事	小山 嘉克	民生児童委員
理事	山口 祐二	民生児童委員
理事	西尾 宅司	利用者保護者
理事	亀田 良一郎	「しごと場大好き」施設長
評議員	石井 和男	弁護士
評議員	深見 圭子	「しごと場大好き」組み紐講師
評議員	市村 研一	調布市社会福祉協議会職員
評議員	宮崎 豊和	市民有識者
評議員	荘司 信芳	布田西部自治会会計
評議員	普後 均	利用者保護者
評議員	清野 豊広	利用者保護者
評議員	岡 弥生	利用者保護者（こぶしの会）
評議員	菊池 美奈子	利用者保護者（こぶしの会）
監事	大村 洋	地域福祉関係者
監事	荒川 美由紀	金融機関勤務・利用者保護者

■事務局スタッフ

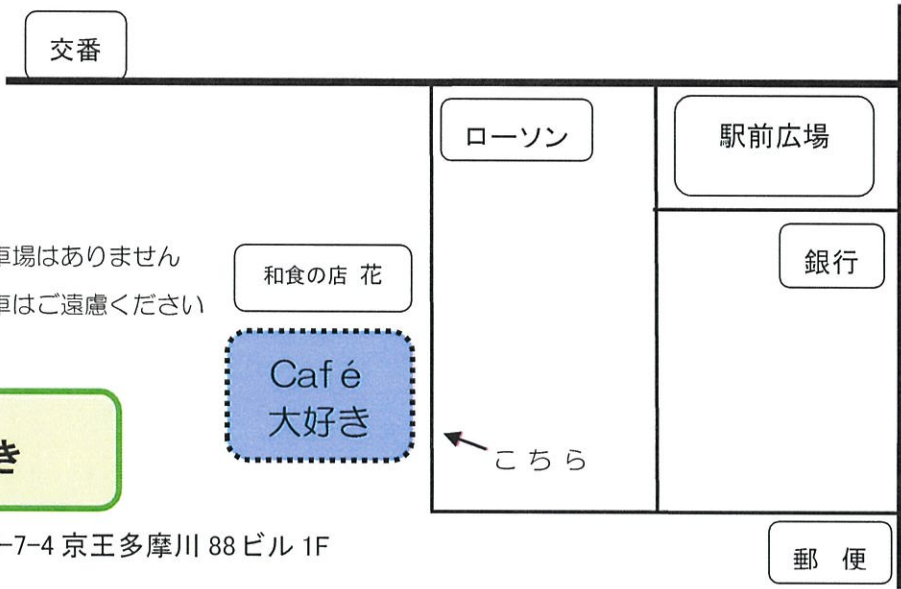
役職名	氏名	所属等
事務局長	内田 喜則	グループホームDAISUKI所長
事務局員	後藤 朋子	Café大好き 店長



しごと場大好き

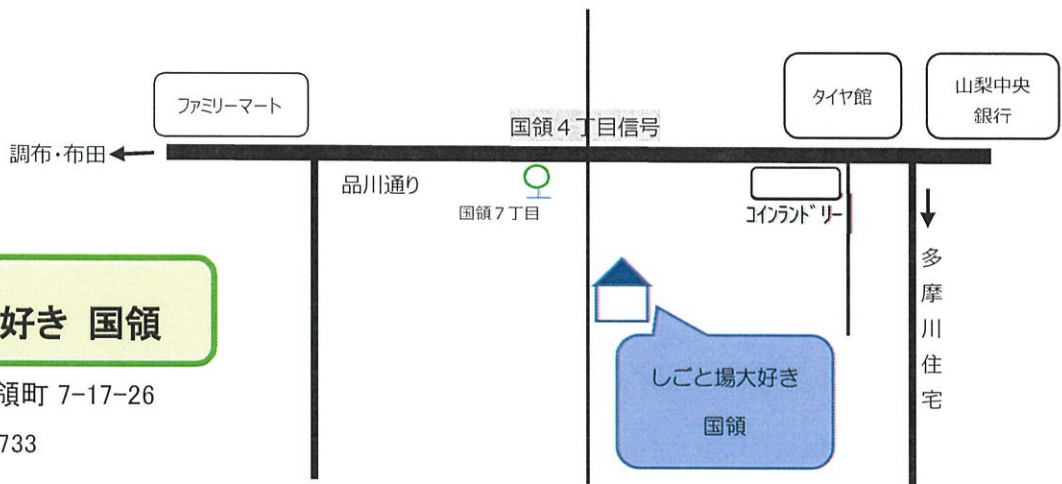
東京都調布市布田 3-20-1
tel042-486-1022 fax042-486-0232

京王相模原線 ← 京王多摩川 → 至調布



カフェ大好き

東京都調布市多摩川 5-7-4 京王多摩川 88ビル 1F
tel/fax042-481-3933



しごと場大好き 国領

東京都調布市国領町 7-17-26
tel/fax042-444-3733



2022年8月

社会福祉法人 調布を耕す会

住所 東京都調布市布田3-20-1

TEL 042(486)1022 FAX 042(486)0232

✉ tagayasukaijp@yahoo.co.jp

HP <http://www.tagayasukai.com>